

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年8月6日

JAMA:新型コロナワクチン接種で心筋梗塞・脳梗塞が半減

【松崎雑感】

新型コロナに感染すると、血栓が出来やすくなるため、心筋梗塞・脳梗塞が増えます。ワクチンは重症化を減らす作用があるため、これらの併発症も減る可能性もあります。実際にそうなるかを検討した論文が韓国から出されました。その結果、ワクチン接種群ではこれらの血栓性疾患が半減することがわかりました。オミクロン株は、ワクチンすり抜け感染を多く起こします。たとえ感染しても、重い合併症を防ぐために、ワクチンを受けることが有用です。

新型コロナワクチン接種で心筋梗塞・脳梗塞が半減

Kim YE, Huh K, Park YJ, Peck KR, Jung J. **Association Between Vaccination and Acute Myocardial Infarction and Ischemic Stroke After COVID-19 Infection** [published online ahead of print, 2022 Jul 22]. **JAMA.** 2022;10.1001/jama.2022.12992. doi:10.1001/jama.2022.12992

背景

新型コロナに感染すると、血栓が出来やすくなるため、心筋梗塞や脳梗塞が増加することが報告されている。

新型コロナワクチンを接種すると、感染や重症化のリスクが低下する。しかし、新型コロナワクチン接種により心筋梗塞や脳梗塞が減るかどうかは明らかにされていない。この点の検討が必要である。

方法

韓国全体をカバーするデータベース解析。**新型コロナ感染者において、ワクチン未接種者と2回接種完了者における心筋梗塞と脳梗塞発症リスクを比較。**ワクチン接種完了から30日以内の発症者は除外（既存の基礎疾患による発症を除外するため）。

結果

解析対象は23万1037名の新型コロナ感染者。ワクチン未接種6万2727名、2回完了16万8310名。ワクチン完了者は未接種者よりも高齢で基礎疾患を持つ者が多かったが、重症化あるいは重篤となった者は少なかった。心筋梗塞＋脳梗塞発症数は、未接種群で31名（6.18/10万人・日）、2回接種群で74名（5.49/10万人・日）。両疾患発症の合計調整ハザード比は2回接種群で明らかに低かった（0.42; 95% CI, 0.29-0.62）。疾患別：心筋梗塞（0.48; 95% CI, 0.25-0.94）、脳梗塞（0.40; 95% CI, 0.26-0.63）。

考案

新型コロナワクチン2回接種が心筋梗塞や脳梗塞リスクを明らかに減らすことが分かった。特にこれらの疾患の危険因子を持つ人々において有用だった。

リミテーションは、診断が保険病名に基づいていたことと、年齢と基礎疾患率について両群で差が見られたことである。

しかし、基礎疾患のある場合にワクチン接種意向が高いことを反映しているのだろう。可能な限り調整を行ったが、未調整因子が残っている可能性はある。